

【もう迷わない！】 データセンター選定方法

今回はデータセンターの活用を検討されている方に『データセンターの選定方法』をレクチャーさせていただきます。

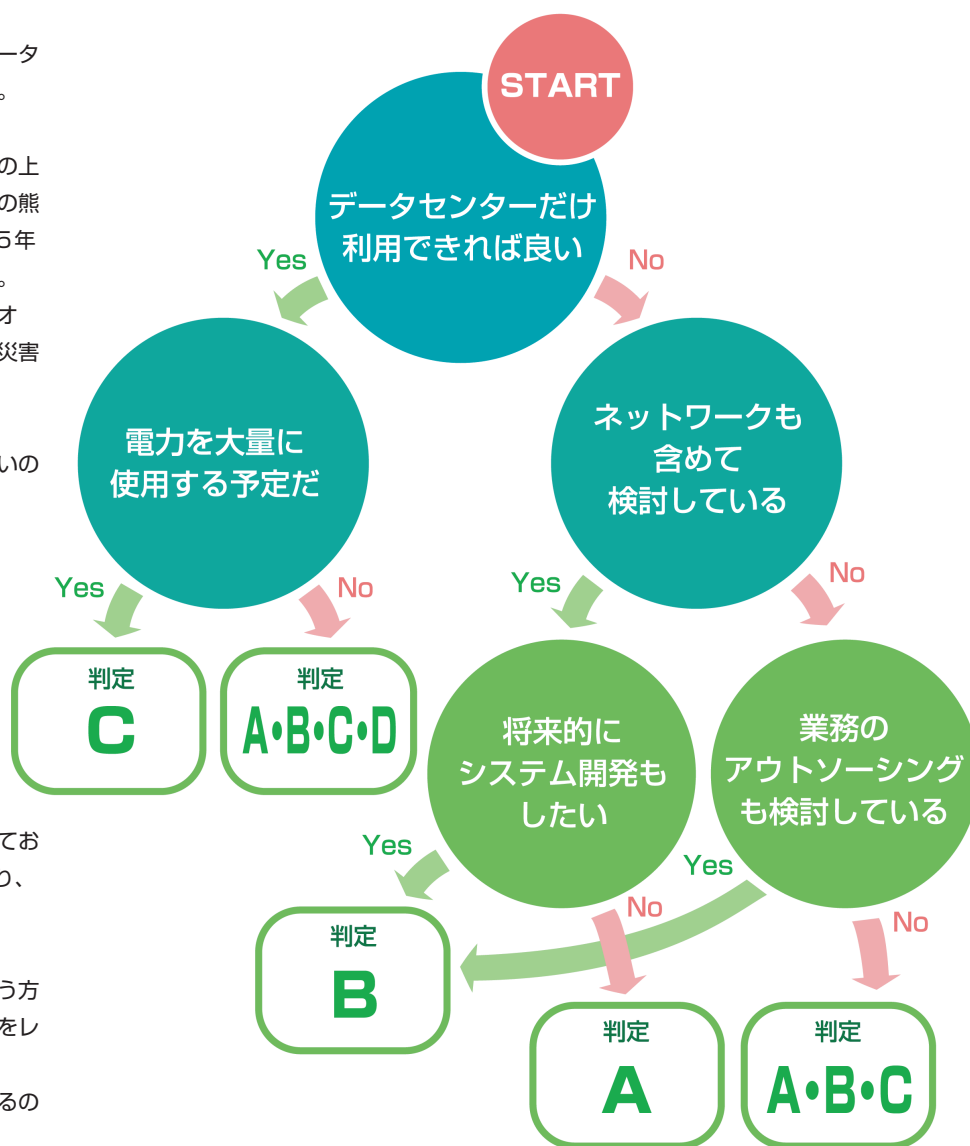
私はこの記事を書いた日の先週12月3日に、阿蘇神社の上棟式が行われたというニュースを聞きました。4年半前の熊本地震で拝殿や楼門が倒壊するなどの被害を受け、令和5年の再建を目指して今もなお復旧作業が進められています。このニュースを聞いて熊本地震の様な大地震に備えて、オフィスの避難経路の確認や、家族との避難先の確認など災害に対する備えが必要であると再認いたしました。

では、企業は大地震に対してどのような備えをすればよいのでしょうか。

その答えは『データセンターを利用すること』だと考えております。データセンターは地震等の災害対策がされており、大切な顧客情報が入ったサーバーを災害から守ります。

データセンターを利用したことが無く選定が難しいという方向けに、データセンターベンダーである弊社が選定方法をレクチャーさせていただきます。

以下の分岐図では何系のデータセンターがマッチしているのか、簡単に導き出すことができます。



判定結果

- A** キャリア型データセンター
(電算システム)
- B** 独立型データセンター
(電算システム)
- C** 電力会社系データセンター
- D** DC 専業会社系データセンター

弊社 DC は岐阜県内に2ヶ所ございます。

1ヶ所はキャリア系データセンター内にあり分岐図における [A] に該当いたします。

また、弊社は独立系IT企業であることから2ヶ所どちらのDCにおいても、[B] に該当するといえます。

いかがでしたでしょうか、DC を提供している会社の特徴を考えると、選定範囲を絞ることができます。BCP 対策としてデータセンターの活用をご検討中の方や、自社のサーバ運用について相談してみたい方は弊社に是非ご相談ください！

<https://www.dsk-idc.jp>